

2019 AUTUMN  
Vol. 41

LINKAGE  
[繋ぐ]

広げる Special Issue:

# 人の思いを綴じ直す 空想製本屋の「手製本」

先どる 緊急時のために備えておきたい  
「PAPER EMERGENCY ITEM」

拓く 循環型社会構築を推進するKPPの  
「サステナブル・ソリューション」

## 人の思いを綴じ直す 空想製本屋の「手製本」

長い時間をともに過ごしてきた特別な一冊。

その本に込められた依頼者の思いや記憶を元に

新しい装いの本に仕立て直すのが、

空想製本屋の店主・本間あずささんの仕事です。

本をゼロからつくる受注制作の仕事と並行して

すでにあるものに「人の思い」という

新たな息吹を吹き込み続ける本間さん。

彼女の確かな製本技術と自由な発想による装飾、

丹念な手仕事がつくり出す本には、

本と人をつなぐ物語が描かれています。

国際紙ハルブ商事が発行するTSUNAGU(繋ぐ)は  
“紙の魅力再発見”をテーマに、  
紙と文化・紙と事業・紙と人を「繋ぐ」広報誌です。

**広げる** ..... P01

人の思いを綴じ直す  
空想製本屋の「手製本」

**出会う+** ..... P06

KPPの海外拠点にクローズアップ  
「慶真紙業貿易(上海)有限公司」

**先どる** ..... P07

緊急時のために備えておきたい  
「PAPER EMERGENCY ITEM」

**伝える** ..... P09

永井龍男夫妻から届いた  
心配りの利いた2枚の葉書

**拓く** ..... P11

循環型社会構築を推進するKPPの  
「サステナブル・ソリューション」

**深める+** ..... P13

保育現場の課題を解決する  
岡山紙商事の「段ボール家具」

**深める** ..... P14

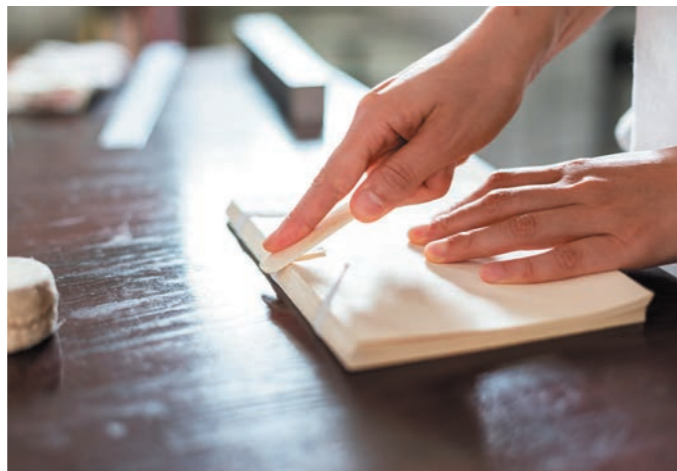
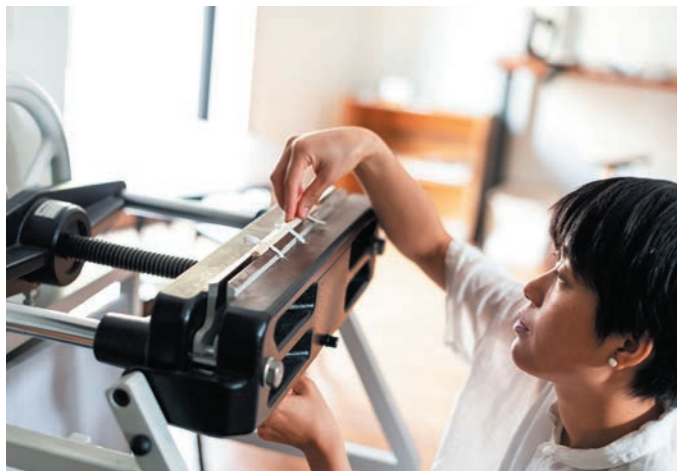
KPPの最新ニュースを  
キャッチアップ

**訪ねる** ..... P15

紙の魅力を体感できる  
「ペーパーイベント・カレンダー」

**作る** ..... 付録

空想製本屋Presents  
旅の思い出を収める「カードケース」



# 空想製本屋

製本とは、印刷された紙の束を順序とおりに取りまとめて糸や接着剤などで綴じ、表紙などをつけて本のカタチにすること。私たちが普段手にする商業出版の本は、製本作業のすべてを機械で行うものがほとんどですが、紙を糸で綴じることから表紙の装飾まで、一貫して手作業で仕上げる「手製本」の価値が今、改めて見直されつつあります。

東京都小金井市にアトリエを構える「空想製本屋」は、手製本の技法によってオーダーメイドの本を仕立てる製本工房です。「紙の選定から印刷、製本までをお受けしていますが、詩集や歌集、写真集など、ご自身の作品を自費出版される方が多いですね」。そう話すのは、店主の本間あずささん。その作業を見せていただく、数十にも及ぶ製本工程の一つひとつを丹念に、緻密かつ繊細な手仕事によってたしかめるように進んでいき

めに寒冷紗（粗めに織られた布）や花布などをつける作業へと進みます。「表紙に革を使う場合は、天地と小口部分を外側に向かって革包丁で軽くそぎ、なだらかな傾斜をつけます。本の中心が少し盛り上がるようにすると、手にしたときの収まりがいいんです」。本の耐久性や美しさはもちろんのこと、持ったときの感触にまで一切の妥協を許さないその手仕事から、本間さんの本づくりに真摯に向き合う姿勢が伺えます。

空想製本屋さんは手製本の受注制作と並行して、依頼者の思いを反映して本を作り直す「本の仕立て直し」を手がけています。個人が大切にしている本を預かり、一度バラバラにしたら糸で綴じ直し、傷んだ部分を修復したうえで表紙に装飾を加えることでまったく新しい装いに仕上げられます。「ご依頼いただいたお客さまに、まずはその本と出会ったきっかけや気に入っているところ、本にまつわる印象的なエピソードなどを伺うことからスタートします。その本に対する思いを元にデザインや製本の方法、表紙に使う素材などを考えていくので、同じ内容の本であっても持ち主が違えば、まったく別の本に仕上がります」。例えば、恩師である先生から受け継いだ書き込みだらけの本は、依頼者が抱く先生のイメージを表紙のデザインに内包して、これからも長く読み続けていけるようにより丈夫な構造に。ひとりと一冊の本の間にある物



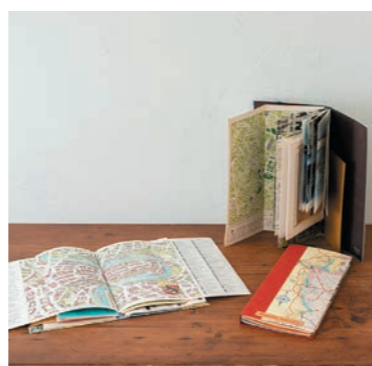
製本家  
本間 あずささん AZUSA HONMA

1983年、茨城県笠間市生まれ。東京外国語大学在学中の2005年から都内の工房にて手製本を学び、2010年に「空想製本屋」を立ち上げ、製本家として独立。スイス・アスコナの製本学校にて再び製本を学び、少数の受注製本、製本教室、ワークショップなど幅広い活動を展開。自身が企画・制作・発行を手がける手製本リトルプレス「MONONOME PRESS」を主宰。

ます。「折り畳まれた印刷紙は基本的に麻糸で綴じますが、糸の毛羽が立って絡みやすいので蜜蝋を塗ります。麻糸は、本の構造とページ数、判型によって太さも細かく変えています」。針に通した麻糸で本の背部分を縫い合わせると、背に糊をつけて固める「背がため」、本を開きやすくするために背に丸みをつける「丸みだし」、背の補強や装飾のた



本間さんのオリジナル作品。黒革の表紙の作品はスイス留学中に制作されたもので、真鍮の板とシルクが組み合わされている。



古道具店で集めた欧州の古地図やパンフレットを綴じ、旅の記憶を一冊にまとめた作品。大きな地図もしっかり開く。



製本で出る余り紙をそのままのカタチで綴じた開きの良い本。表紙にはシャツの切れ端を用いた「はしばしノート」と名付けた。

語に思いを寄せながら、丹念な手仕事によって本のカタチにしていく作業は、まさに「空想製本屋」の名前にふさわしい仕事なのです。

本間さんが製本家を志したのは、大学在学中のこと。ベルギーで製本工芸を学び日本に紹介した柄折久美子さんの手製本についての著書を読み、展覧会で作品を見たことをきっかけに、すぐに製本を学ぼうと決めたそうです。「実際の作品を見たとき、本が語

# KEISHIN PAPERS TRADE (SHANGHAI) CO.,LTD.

慶真紙業貿易(上海)有限公司



■DATA  
Room 2801, New Town Center, 83 LouShanGuan Road,  
Changning District, Shanghai,  
200336 People's Republic of China.  
TEL: 86-21-6275-8111 FAX: 86-21-6275-8799  
E-Mail: kpp-sh@keishinpapers.com.cn

## KEY PERSONS 01

営業部 部長

**Qian Ming**

チエン・ミンさん



Q1 担当している業務は?

「営業」

Q2 性格をひと言でいうと?

「率直」

Q3 モットーは?

「すべてのできることを、自分の責任で決断する」

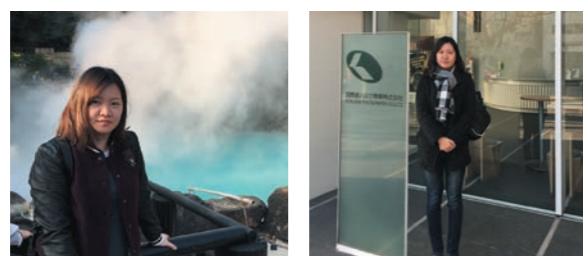
「刺激と反応の間には空間がある。その空間に、自分の対応を選ぶ力がある。その対応の中に、自分の成長と自由がある」(ヴィクトール・フランクル)。社会に出て17年間の間、さまざまな失敗を経験しましたが、反省することはあっても後悔することはありませんでした。私たちを取り巻くビジネス環境は、今後、劇的に変化することが予想されます。どんなに難しい状況でも、目の前の困難や課題にしっかりと向き合い、責任を持って取り組んでいきたいと思っています。

## KEY PERSONS 02

営業管理部 部長

**Chen Xiao Yan**

チエン・シャオ・イェンさん



Q1 担当している業務は?

「営業のサポート・管理・総務」

Q2 性格をひと言でいうと?

「率直、責任感が強い」

Q3 モットーは?

「他者と比較するのではなく、明日の自分が昨日の自分を超越するように成長していきたい」

今年で入社13年目を迎えます。これまで上司の指導と同僚の協力のもと、さまざまな業務に携わり、努力を重ねてきました。どんな仕事も無駄だと思えることなく、小さなことから多くを学び、自身の能力を高めてきました。これからは自身を振り返り、反省すべき点は真摯に受け止めて成長していくこと。また、他者との比較で一番をめざすのではなく、自分のペースで少しずつ、明日の自分が昨日の自分を超越するように、成長していきたいと思っています。

## OUR BUSINESS

慶真紙業貿易は、江蘇王子製紙のコート・上質紙、(株)ユボ・コーポレーションの合成紙の販売を中核事業として、生活産業資材、機能材の分野でも発展を続けてきました。今後も中国市場におけるEC市場の拡大、脱プラに伴う紙製包装容器と周辺素材の需要拡大を見据え、事業領域の拡大に注力していきます。



りかけてくるような、まるで本が生きているような感じがして。機械でつくった本にはない不思議な魅力を感じました。自分の思いに合わせて自由につくることができると、面白さが詰まった手製本を、将来の仕事にしようと思った。本間さんは学業と並行するかたちで製本工房に通い、幅広い製本技術を習得。卒業後、編集の仕事に就いてからも工房に通いながら、年1回のペースで個展を開催し、作品を観た人から手製本の仕事を請け負うようになったそうです。「会社員として3年経ち、製本に関する知識と視野を広げるために編集の会社を退職してスイスの製本学校に通いました。ヨーロッパのクラシックな技術から新しい技術まで幅広く学べたことは、大きな財産になりました」。帰国後、本の仕立て直しから手製本の仕事をスタートした本間さんは、自費出版本の受注制作のほか、製本教室やワークショップを通して手製本の魅力を広める活動を展開。昨年10月にはより多くの人との交流を目的に、街中にアトリエを移しました。「ヨーロッパでは街中に製本工房があって、誰もが気軽に本の修理や自分好みの装丁を施してもらうために工房を訪れます。個人が本のかたちを自由に考えたり、本づくりの楽しさに触れられる場所になれたらいいですね。手に伝わる重みや手触りも含めて本の魅力、と話す本間さん。空想製本屋は、これからも本と人をつなぐ場所であり続けます。



### 空想製本屋

□住所:東京都小金井市東町4丁目  
□TEL:042-382-7088  
□MAIL:info@honno-aida.com  
□HP:honno-aida.com



変形折り紙のように自由自在にカタチを変えられる紙遊びの本。子ども向けのワークショップでも使用されている。



本間さんが企画・制作・発行を手がけるリトルプレス「庭の本」。季節ごとの草木を用いて表紙と綴じ糸を染め、一冊一冊手製本で制作されている。綴じ方や造本はそれぞれの季節によって異なり、季節を詠んだ和歌や俳句、詩などが集録されている。

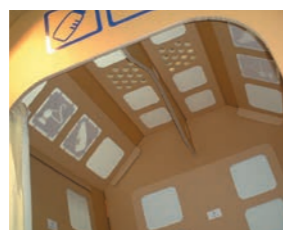
避難所のプライバシーを守る  
組み立て式「個室空間」

03

「災害時 避難所用 更衣室&授乳室」

発売:安達紙器工業株式会社  
www.adachishiki.co.jp

2004年に発生した新潟県中越地震。その避難所での調査で明らかになったのが、人目が気になる時に「遮るものがない」という課題でした。そうした声をもとに地元・新潟の紙器メーカーが開発したのが、更衣室、授乳室としても使用できるプライベート用の個室です。工具を使わず組み立てられるだけでなく、段ボールと再生紙できているので軽くて丈夫。組み立て後も簡単に移動できます。車椅子のまま入室できる広々サイズながら、梱包時には厚み26センチに収まるので広い保管場所も必要としません。同メーカーの防災製品には、特殊紙でできた簡易担架「レスキューボード」も。オフィスに備えておくと安心です。



「緊急用簡易担架 レスキューボード」は、3.5kgと軽量にもかかわらず最大耐荷重は約500kg(素材乾燥時)。両面撥水コート処理が施されているので、悪天候時にも活躍する。



KPP  
関西支店でも  
ご注文を  
賜ります。

- ベッド本体:  
W1760×D810×H305mm
- ベッド(外箱利用時):  
W1930×D810×H615mm
- 収納時:W813×D167×H615mm
- 重量:約8.6kg
- 耐荷重:最大700kg
- ※避難所での使用は事前にご確認ください



ひじ掛けになる「お助けキット(別売)」も。

避難所生活の負担を軽減する  
段ボール製の組み立てベッド

04

「楽々ベッドII」

発売:株式会社タカオカ  
https://takaoka-bosai.com

災害発生時、被災者の救護や避難所での二次被害を軽減するアイテムとして注目されている段ボール製の簡易ベッド。この「楽々ベッドII」は、行政の要請を受けて老舗の段ボールメーカーが開発したもので、組み立ては工具を使わず約3分で完成。天板の耐荷重は最大700kgと丈夫なうえ、軽量なので移動も容易です。また段ボール製のマクラ付き、外箱は棚や収納ケースとしても利用できるなど、避難所での生活を想定した工夫が凝らされています。段ボール製のベッドは、空気層ができるため比較的暖かく、外装箱もコンパクトでぜひ備蓄しておきたいアイテムです。

緊急時のために備えておきたい

PAPER EMERGENCY ITEM

突発的に発生する地震や異常気象が引き起こす災害は、決して他人事ではありません。被災時の安全を確保するためにも万全に備えておきたい、すぐれた“紙もの”アイテムをご紹介します。

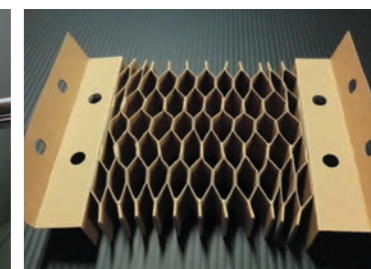
ヘルメット並の強度で頭部を守る  
段ボール製の折りたたみ帽子

01

「アウトリーチ防災用帽子」

発売:有限会社秦永ダンボール  
www.d-sinei.com

災害発生後には落下物から頭部を守る必要がありますが、ヘルメットは保管場所に困るし、防災頭巾では強度が心配。そんな課題を解決したのが「アウトリーチ防災用帽子」です。軽量かつ丈夫なことで知られるハニカム構造の段ボールに、強度、耐水性、難燃性を向上させる特殊加工をプラス。さらに、近年注目を集める折り紙工学を取り入れて開発されたこの帽子は、ヘルメットと同等の強度を持ちながら重さはわずか160グラム。頭にフィットするかぶり心地や通気性にもこだわったすぐれものです。折りたたんだ状態から左右に広げるだけで簡単に着用できるので、万一の備えとして常に携帯したいアイテムです。



荷重100キロまで耐えられる  
段ボール製の組み立て式簡易トイレ

02

「緊急用組み立て式トイレ」

発売:株式会社コジット  
www.cogit.co.jp

災害発生時、マンションの浄化槽や排水管が壊れてしまうと、トイレの汚水が溢れ出してしまう可能性も。トイレの水を流せない事態を想定して、簡易トイレを備えておくと安心です。便器が段ボールでできた「緊急用組み立て式トイレ」は、未使用時には折りたたんで収納できるコンパクト設計。耐荷重100キロと丈夫な作りなので、少々大柄な方でも安心して使用できます。便器を組み立て、専用のビニール袋を装着すればすぐに使用可能。用を済ませたあと、付属の凝固剤をふりかけると汚物が固まり匂いを閉じ込めるので、水は必要ありません。ビニール袋を取り替えることで、繰り返し衛生的に使うことができます。

「手紙」は語る

植村鞆音

人間は表現する動物だというのが、手紙は人間の表現のなかでもっとも深く高貴なものだと思ふ。手紙は手書きがいい。眼光紙背に徹すれば、書き手の人となりが見えてくる。

第十九回 永井龍男【後編】

永井龍男さんとは、深いとはいえないが三十年近いおつき合いだった。いま資料を前にすると、さまざまなのが脳裏をよぎる。先に述べた新年会には、女房と生まれて間もない長男を帯同したことがあった。大人ばかりの会なので長男は人気者で、永井さんのお孫さんの壊れかけた車の玩具などを手に機嫌よく遊んでもらっていた。昭和四十七年九月十一日付の悦子夫人からの葉書。

「(前略)お坊ちやまはきぞ大きくおなりでいらっしやいませう もう幼稚園でしようか 一昨年のお正月にあのこわれかけたブーブーが大そうお気に入りでしたのに持主不在のためおばあちゃんの「存」というわけにいかずどうも駄目で今でも悪かったなあと思ひ出して居りました 今日ハトサブレ一少々お届け申しあげましたのでお詫びをかねお笑い草までに どうぞ皆さまお体御大切に遊んでくださいまし かしこ」

悦子夫人のやさしさと心配りが伝わってくる。これが永井家の家風なのだろう。

旧いアルバムをめくれば、ご自宅の庭のソメイヨシノの下での観桜会、瑞泉寺での観梅会、式場病院バラ園でのバラを観る会、生家周辺を永井さんご自身で尾野二郎という人がいて、帰国して「龍通信」という代理店をやっていた。「龍通信」の「龍」は、私淑する永井龍男の「龍」である。

永井さんが大手ウイスキーメーカーと親しいので、そこをスポンサーに、永井さん、尾野さん、わたし、三人の力を併せてテレビで座談番組をやろうということになった。当時文壇の一方の勢力だった、川端康成、小林秀雄、今日出海、横山隆一、大佛次郎など、鎌倉在住の文士たちの出演でレギュラーの辛口座談番組を実現しようということだった。「鎌倉放談」という仮題をつけたのはわたしだったかもしれない。これは、ほどなく、たしか「回想のアルバム」という三十分番組として実現した。放映は、わたしが勤めるテレビ東京である。もう一本、やはり永井さんの力添えで大手タイヤメーカーがスポンサーになり、井伏鱒二、河盛好藏、永井龍男出演の長尺座談番組を制作したことがある。「回想のアルバム」の前後だったと思う。鎌倉鶴岡八幡宮の目の前の蕎麦屋でみなさんと昼食の蕎麦を食べた後、収録会場の高徳院に向った。この番組もお三人の発言内容はほとんど覚えていない。ただ、憧れの作家たちとしばらくの時間を共にしたので、すこしは記憶にとどめておくべきだったと今にして悔やまれる。

この番組の放送の後、永井さんとわたしの間でひと悶着あった。民放5社には出演料に統一ランクがあった。わたしは、番組の責任者でありながら永井さん

案内してもらった折の神田ニコライ堂まえの記念集合写真などなど。

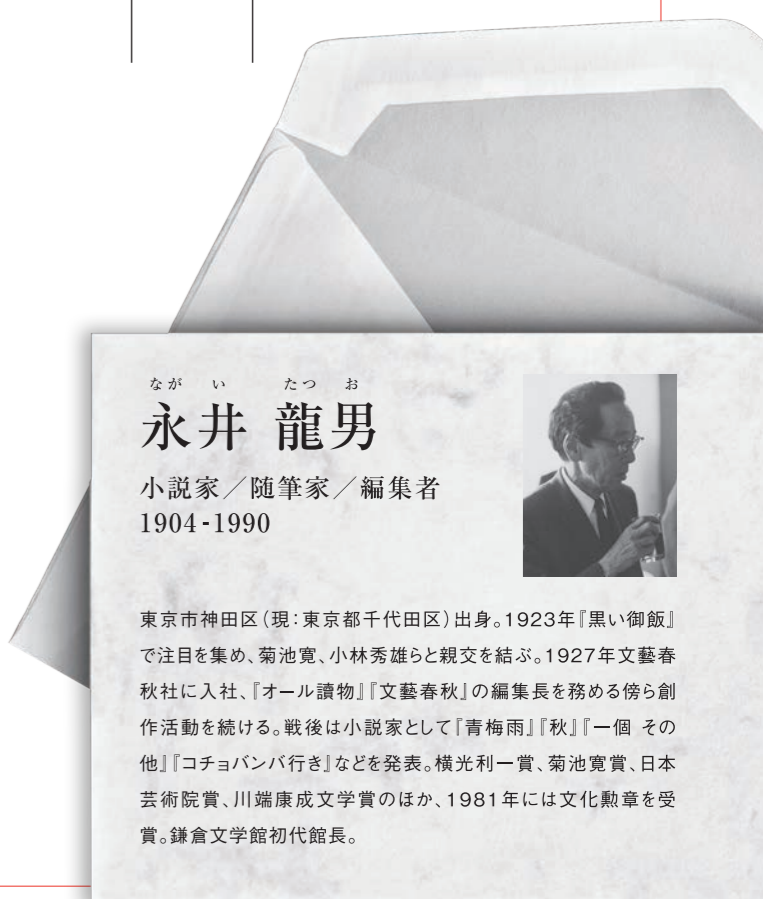
写真を見ながら思い出したが、この頃から亡くなるまでの二十数年間、仕事のうえでも結構おつき合いがあった。最初は「人に歴史あり」というテレビ番組の初回で文藝春秋社長(直木賞、芥川賞を主宰する日本文学振興会理事長の池島信平さん)をとりあげることになり、現存する芥川賞作家、直木賞作家にサブゲストとして大挙出演していただいたのだが、永井さんは直木賞選考委員、芥川賞選考委員であると同時に文藝春秋時代池島さんの先輩でもあり、番組には欠かせぬ存在だった。番組の中でどんな発言をされたのかいまはもうまったく記憶にないが、胸につけるネームプレートの「龍男」が「竜男」になっていたのを苦笑いしながら注意された。文字に厳格な作家に苦笑いだけで許してもらえたのは、やはり直木三十五の甥、植村清二の息子という関係のお蔭だったろう。

いずれにせよ、この頃から仕事でのつき合いは増した。永井さんは菊池寛に識られ、小説を書きながら文藝春秋に籍をおいたが、戦中満州(現在の中国東北部)文藝春秋の創設にも関わっている。満州時代の知人の営業的バックアップを考慮し、統一ランクの何倍かの破格のギャラを支払ったのだが、永井さんからは、少なすぎると大きな怒りを買ひ、わたしはしばらくの間永井家への出入りを控えた。

永井さんを知る父は、昭和六十二年五月に死んだ。わたしは、晩年父がよく随筆を寄稿していた「日華月報」という新聞の発行者からの依頼で、父の死の前後を「父の遺したものと」という小文にして、掲載後コピーを父の知人たちに送付した。むろん永井さんにも送った。ほぼ半年後、永井さんから葉書が届いた。

「お父上を偲ばれる御文章は一年を経た今拝読し感銘いたしました 老人とはこういうものとおゆるしを得たく御温座の故人を眼前にした思いがあります」

封筒には、昭和六十三年二月の消印がある。わたしには、文章上の尊敬すべき二人の先達がいいた。一人が父の教え子である丸谷才一さん、そしてもう一人が永井さんである。わたしが、定年後執筆を二本の柱に生きてみようと思ひ立ったのは、この永井さんと丸谷さんの励ましの手紙があったからである。もっとも、それがわたしにとって幸せであったかどうかは、また別の問題である。



なが い たつ お  
永井 龍男  
小説家／随筆家／編集者  
1904-1990

東京市神田区(現:東京都千代田区)出身。1923年『黒い御飯』で注目を集め、菊池寛、小林秀雄らと親交を結ぶ。1927年文藝春秋社に入社、『オール讀物』『文藝春秋』の編集長を務める傍ら創作活動を続ける。戦後は小説家として『青梅雨』『秋』『一個 その他』『コチョコパンバ行き』などを発表。横光利一賞、菊池寛賞、日本芸術院賞、川端康成文学賞のほか、1981年には文化勲章を受賞。鎌倉文学館初代館長。

著者略歴

つとむらともね  
植村鞆音 エッセイスト

小説家・直木三十五の甥、東洋史学者・植村清二の子として愛媛県松山市に生まれる。1962年早稲田大学第一文学部史学科卒業後、東映を経てテレビ東京に勤務。同局常務取締役、(株)テレビ東京制作代表取締役社長等を歴任。2005年「直木三十五伝」で尾崎秀樹記念・大衆文学研究賞受賞、2007年「歴史の教師植村清二」で日本エッセイスト・クラブ賞受賞。主な著書に「夏の唄」「気骨の人 城山三郎」など。



「第7回 KPP総合展示会」を開催

11/11(月)~13(水)



展示内容

- 持続可能な社会づくりに紙が有効な理由と森林事情
- C.W.ニコル アファンの森財団 協賛活動
- マイクロプラスチック問題、課題解決への取り組み
  - ・紙化商品 ・減プラ商品 ・環境配慮型化成品
  - ・マテリアルリサイクル/サーマルリサイクル
  - ・その他環境負荷低減商品や事例のご紹介

持続可能な社会づくりのために

7回目となる総合展示会では、「持続可能な社会づくりのために」をテーマに環境負荷低減への取り組みを紹介し、紙・パルプが持つ代替素材としての可能性だけでなく、社会的便益をもたらしているプラスチック・フィルムの有効な取り組みについてもフォーカスを当て、環境負荷低減につながる商品・ソリューションをご案内します。



開催概要

会期	2019年11月11日(月)~13日(水) 【C.W.ニコル氏基調講演】 11/12(火) 予定
時間	10:00~17:00(3日間共通)
入場料	無料 本展示会はお取引先向けの展示会となりますので、一般の方の入場はできません。
会場	KPP本社 (1Fエントランスおよび2F)
お問合せ	03-3542-4169

SPECIAL PROGRAM C.W.ニコル氏による基調講演

作家・C.W.ニコル氏をお迎えした基調講演を開催します。森の再生など、後世に自然を残すためのさまざまな活動を行うアファンの森財団についてお話しいただきますとともに、特設ブースにて同氏の活動をご紹介します。

C.W.ニコル氏基調講演：11/12(火) 予定

C.W.ニコル

作家、環境保護活動家、探検家、(一財)C.W.ニコル・アファンの森財団理事長  
1940年、英国ウェールズ生まれ。北極調査探検、エチオピア・シミエン山岳国立公園の公園長などを務めるなど、世界各地で環境保護活動を行ったのち、1980年に長野県黒姫に移住。「アファンの森」と名づけた森の再生活動に取り組む。1995年に日本国籍を取得。執筆活動とともに、講演やメディアを通じて環境問題への提言を続ける。2005年、英国エリザベス女王陛下より名誉大英勲章(MBE)を授与される。



# KPP Sustainable Times

持続可能な社会実現に向けて、循環型社会の構築をめざすKPPが地球規模で取り組むべきさまざまな課題やその解決に向けた取り組み、国内外の最新トピックスなどをご紹介します。

## 環境問題の“今”を読み解く6つのキーワード

### 01 G20大阪サミット

2019年6月に開催された20カ国地域首脳会議(G20)大阪サミットにおいて、主要テーマのひとつとして話し合われたのが「海洋プラスチックごみ問題」。2050年までに海洋プラスチックごみによる追加的な汚染をゼロにまで削減することをめざす「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」を共有。首脳宣言として発表されました。また日本政府は、途上国の廃棄物管理に関する能力構築およびインフラ整備を支援する「マリン(MARINE)・イニシアティブ」の立ち上げを表明しました。同イニシアティブのもとで「2国間ODAや国際機関経由の国際協力」「日本企業・NGO・地方自治体による活動の国際展開」「ベスト・プラクティスの発信・共有」などを推進していきます。

### 02 CLOMA(クロマ)

CLOMAは「クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス(Japan CLean Ocean Material Alliance)の略称。海洋プラスチックごみ問題の解決に向け、業種を超えた幅広い関係者の連携強化、イノベーションを加速させるためのプラットフォームとして設立されました。プラスチック製品の製造から利用、廃棄にいたるまでのバリューチェーンを構成する会員同士が共通認識のもとに企業間の連携を強化し、具体的な成果につなげていく取り組みを進めています。当社も普及促進部会会員として、その活動に参加しています。  
HP:cloma.net



### 03 プラスチック・スマート

環境省が推進する「プラスチック・スマート」フォーラムは、海洋プラスチックごみ削減をめざす趣旨に賛同、または関心を持つ企業・団体の対話と交流を促進し、それぞれの取り組みの拡大・活性化を支援することを目的としています。「プラスチックとの賢い付き合い方」を全国的に推進するために、関連情報の提供、イベント、シンポジウムなどを開催するほか、海洋プラスチックごみ対策の優良事例を紹介する「海ごみゼロアワード」の実施支援なども行っています。当社も会員として参加しています。  
HP:plastics-smart.env.go.jp



### 04 紙化

飲食店チェーンでプラ製ストロー・容器を廃止、スーパーマーケットやアパレルショップでレジ袋を有料化するなど、プラスチックごみ削減に向けた動きが加速しています。プラスチックの代替品として、リサイクル可能な素材である「紙」が世界的に注目されており、幅広い業界・用途で「紙化」が広がっています。当社では、これまでに培ってきたノウハウを最大限に活用することで、「紙化」に関するさまざまなニーズに柔軟に対応。多くのお客さまに最適なソリューションをご提供しています。



すべてが紙素材の熱飲り容器 (アイバックスイケタニ社)

### 05 減プラ

プラスチック製品の一部をバイオ素材に代替したり、原料にパルプや紙などを混成させることで、使用するプラスチック量を減少させる取り組みのこと。石油由来資源の使用を削減することで環境負荷は低減し、その配合率によってはプラスチック製品ではなく、紙製品として取り扱うことも可能となります。その一例として、微細な紙パウダーを主原料にポリオレフィン系樹脂を混成する技術によって従来のプラスチック材料と同様に成形できる新素材紙パウダー「MAPKA」は、「ポストプラスチック原料」と呼ばれるほどに注目されています。世界中に「減プラ」の動きが広がるなか、日本でもさまざまな新素材の研究・開発が進められています。



紙・パルプを主成分とした「MAPKA」(環境経営総合研究所)

### 06 環境配慮型化成品

従来のプラスチックの機能を保持しつつも、環境負荷低減の改善・工夫がされている化成品のこと。バイオマスを原料とした「バイオマスプラスチック」と、自然界の微生物によって生分解される「生分解性プラスチック」などがその代表格。枯渇性資源である石油から再生可能資源への転換、バイオ素材のカーボンニュートラル特性など、プラスチックごみ問題以外でも環境負荷低減に寄与する素材開発の分野で、さらなる技術革新が求められています。



生分解性フィルム「ネイチャーフレックス」(フタムラ化学)

豪州・スパイサーズ社のKPPグループ参画を記念して祝賀会が開催されました。

2019年7月、オーストラリアの紙・包装資材等の卸売を手掛けるスパイサーズ社が、KPPグループの一員に加わりました。これを記念して8月14日、オーストラリアにて祝賀会が開催されました。祝宴には、当社社長の田辺のほか本社役員・担当社員が出席。スパイサーズのデビット・マーチンCEOはじめ、現地スタッフや業界関係者にも多数ご参加いただき、同社の新たな船出を盛大に祝いました。

また、祝賀会ではデビット・マーチンCEOからのサプライズとして、紙製のメモリアルアートが贈呈されました。この作品は世界中のコレクターに愛されるオーストラリアの紙の彫刻家、レイ・ベッサードン氏によって制作されたもので、一対になった2つの作品がKPP、スパイサーズの両社に飾られる予定です。



デビット・マーチンCEO(左)と田辺社長  
左からレイ・ベッサードン氏、坂田室長、デビット・マーチンCEO



「BIRDS OF FEATHER」  
(レイ・ベッサードン氏作)  
"Birds of a feather"とは、近い価値観やアイデア、性格を持つ者同士が集まることを意味することわざ。地域社会への貢献とサステナビリティを重視するKPPとスパイサーズの統合された姿勢にインスパイアされ創作されました。

**田辺 円 社長**  
「当社はアジア太平洋地域での事業拡大をめざしています。スパイサーズと当社は今後、紙・パルプおよびその関連事業におけるプロ集団として価値観を共有し、一丸となって、さらに力強くビジネスを展開していきます。みなさまと一緒に仕事ができることを楽しみにしています」

**デビット・マーチン CEO**  
「当社は創業から154年の長い歴史を持つ企業です。私たちは今、KPPによる新しいオーナーシップのもと、新たな冒険に踏み出そうとしています。私たちの挑戦はオーストラリアとニュージーランドの印刷業界にとっても実り多きものになるでしょう」

「TSUNAGU GALLERY」にて仙台七夕を展示

本誌面でご紹介した作家・アーティストの方々の作品や製品などを紹介する本社1階エントランスのTSUNAGU GALLERYも、今夏で10回目。節目を飾った「仙台七夕」は、実際の七夕まつりで飾られる絢爛豪華な吹き流しのほか、震災復興の一環として進められている「仙臺七夕祈織」でのリサイクルプロジェクトなども展示し、好評を博しました。また、見学に訪れたお客さまや近隣の幼稚園児などが願いを込めた短冊は、近隣の神社にてお焚きあげをしていただきました。



地域貢献活動が評価され、関西支店に感謝状が授与

当社関西支店は、2019年5月18日大阪府松原市の子育て支援センターにおいて「段ボールで遊ぼう」をテーマに段ボールで作った迷路や遊具を製作・提供しました。これらの功績が認められ福祉の向上や地域の活性化に寄与したとして、同市の澤井市長より今年8月末に感謝状が授与されました。今後も地域社会に貢献できる活動を継続してまいります。



左から、北隔支店長代理、原支店長、澤井市長、渡邊課長

KPPのグループ企業にクローズアップ

深める +  
— FUKAMERU PLUS —

岡山紙商事株式会社

岡山県岡山市北区富田53-1  
TEL:086-225-5151(代表)

<http://okayama-kami.co.jp>



岡山紙商事は、前身の岡山紙業から数えると創業70年になる老舗紙卸商です。紙と関連商品、梱包資材を軸に地域の幅広い需要に応えてきた同社は、今年4月に沼滝新社長を迎えて、ソリューション型ビジネスの展開に向けた新たな挑戦をはじめとしています。

その一例が、保育支援商材の開発・販売です。「きっかけは、市内の保育園から食物アレルギーを持つ子どもが隣の子の給食に手を伸ばし誤って食べてしまうのを防ぎたいとの相談を受けたことでした。子どもたちの誤食は、生命に関わる大

きな問題。紙を扱う企業として課題解決の役に立てることはないかとの思いから、ダンボール製の机を作ることにしました」(営業推進部・山上寿也さん)。

岡山市にある紙器メーカーと共同開発したダンボール製の机は、誤食防止用に波形の仕切りをつけ、周りのお友だちの顔が見える高さに工夫されています。コストが安く、軽量なので持ち運びしやすいなど、段ボールならではの長が活かされています。また、段ボールでつくったすべり台は、二重構造にすることで強度を保持。保育者の方か

保育者の声

この机を導入したことで、アレルギーを持った子どもを隔離する必要がなくなりました。すべり台は、側面にお絵かきができるので、子どもたちにも好評です!

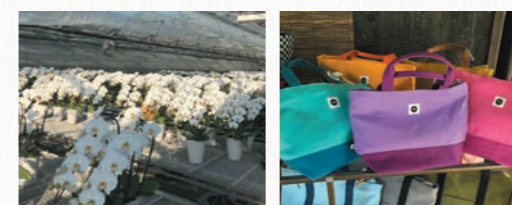


らは「容易に移動できるのが悪天候時の室内遊びにも重宝しています」と高い評価を得ているそうです。

岡山紙商事の強みについて「岡山市内に800社の販売先があること」と沼滝社長は話します。

「幅広い販売ルートや協力会社とのネットワークを活用すれば、価格以外の魅力や独自性のある新しい商品サービスをもっと生み出せるはず」。お客さまが抱える課題や潜在的なニーズに対して、柔軟な発想と提案力に対応していく同社の今後の展開に注目です。

業種の枠を超えて挑戦を続ける岡山紙商事の新事業サービス



岡山紙商事は、異業種とのコラボレーションによってその活動領域を拡大しています。花の仲卸、生産農家とのタッグによって胡蝶蘭の販売を新事業に。そのほか帆布バッグの販売や食品トレー、古着の回収・リサイクルなど、多岐にわたる事業をスタートしています。



沼滝社長(右)と営業推進部・山上さん。



作る

紙と触れ合い、モノを作る

「PAPERCRAFT on the DESK」

オモテ面

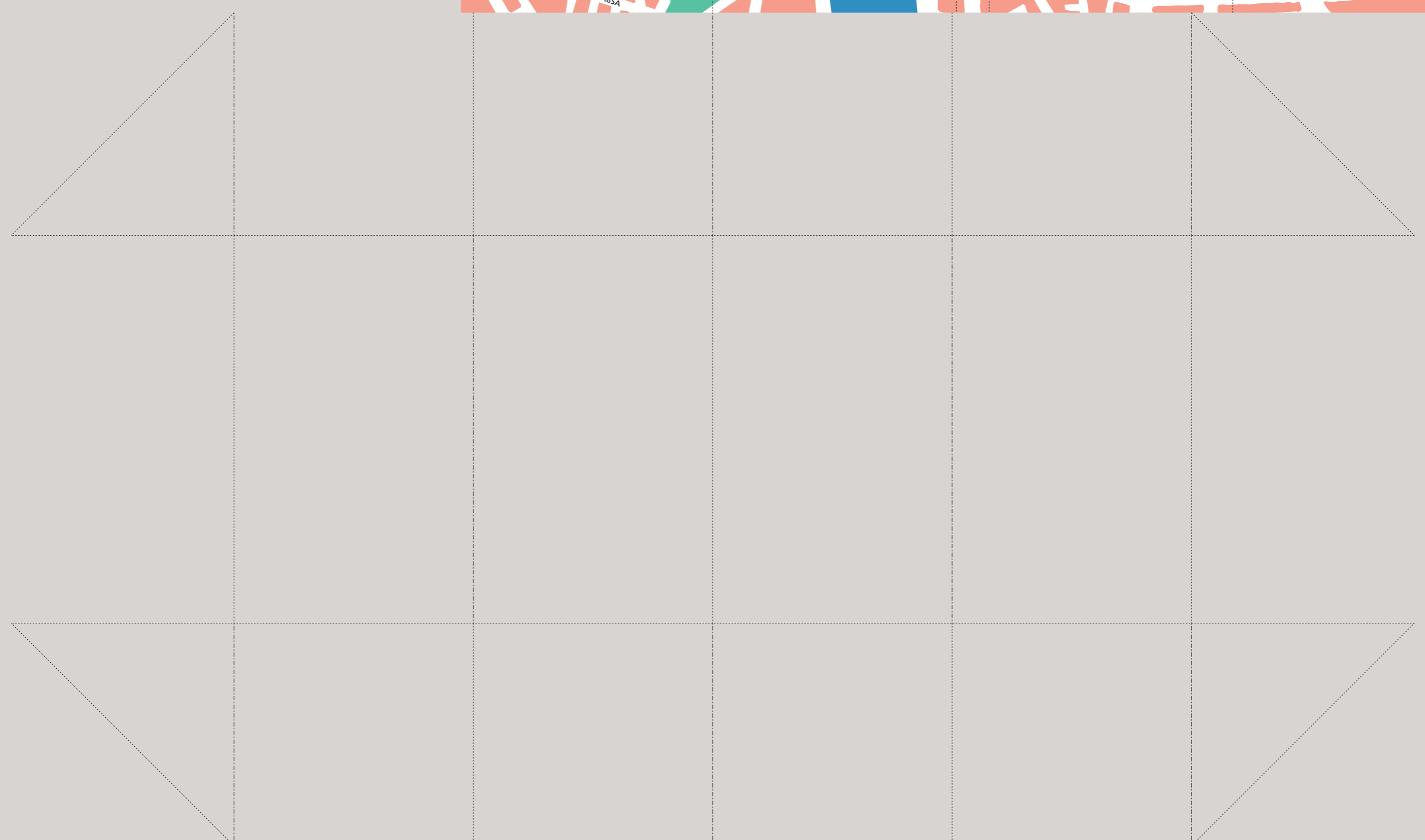
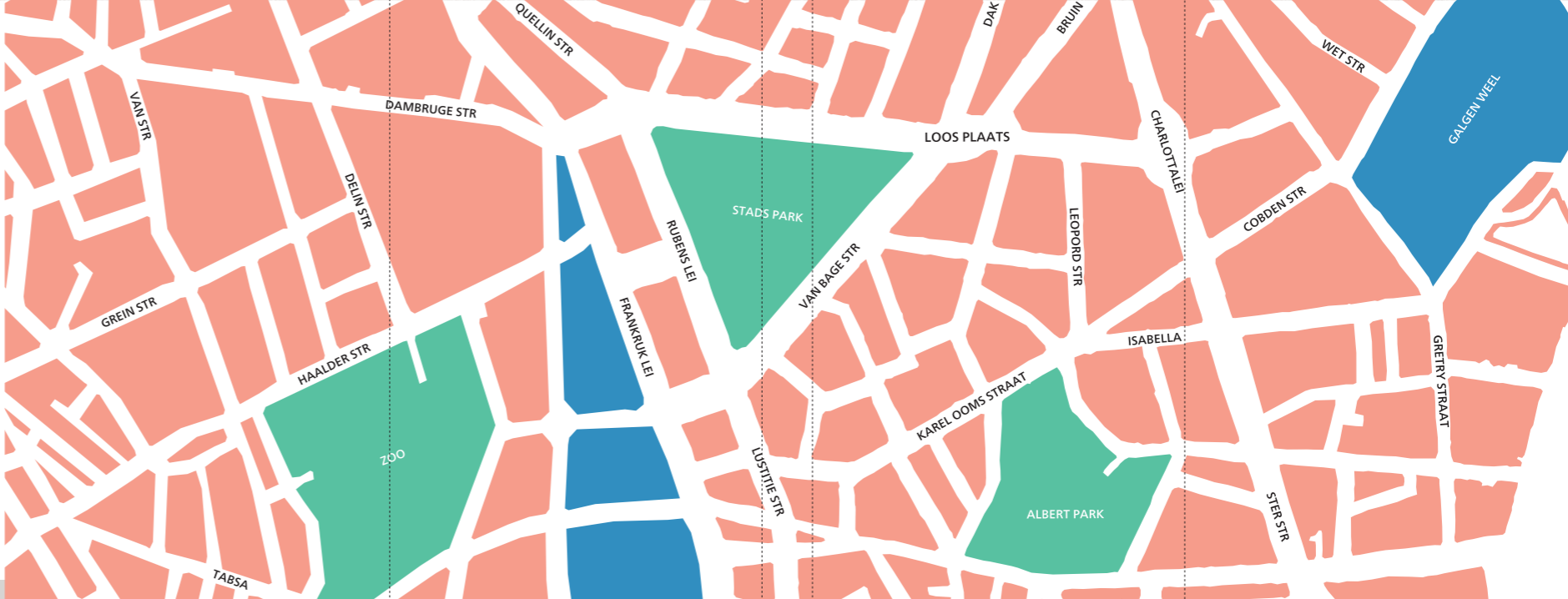


# 旅の思い出を収める「カードケース」

空想製本屋 Presents

巻頭ページで特集した空想製本屋の本間あずささん考案による、オリジナル「カードケース」です。一般的な名刺が収まるサイズなので、旅先で訪れたお店やレストランのショップカード、出会った方と交換した名刺など、旅の思い出をひとつにまとめるのにぴったりのアイテムです。この秋、旅のお供にぜひ活用ください。

「作る」vol.41 使用紙：雷鳥上質（104.7g/m<sup>2</sup>/中越パルプ工業株式会社）  
自然な色合いと素朴で優しい肌ざわりが持ち味の上質紙です。均一な地合いで印刷適性に優れています。



表紙

上辺

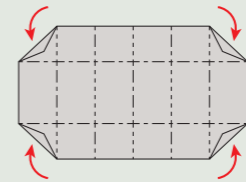
本体

下辺

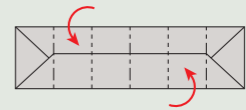
# 作り方

はじめに抜き型に沿って、[表紙]と[本体]を切り取ります。

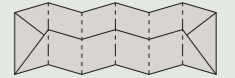
1 [本体]の四隅を内側に向けて三角に折ります。



2 折り線に沿って[本体]を三つ折りにし、ポケット部分を作ります。この時、下辺が上になるように重ねます。



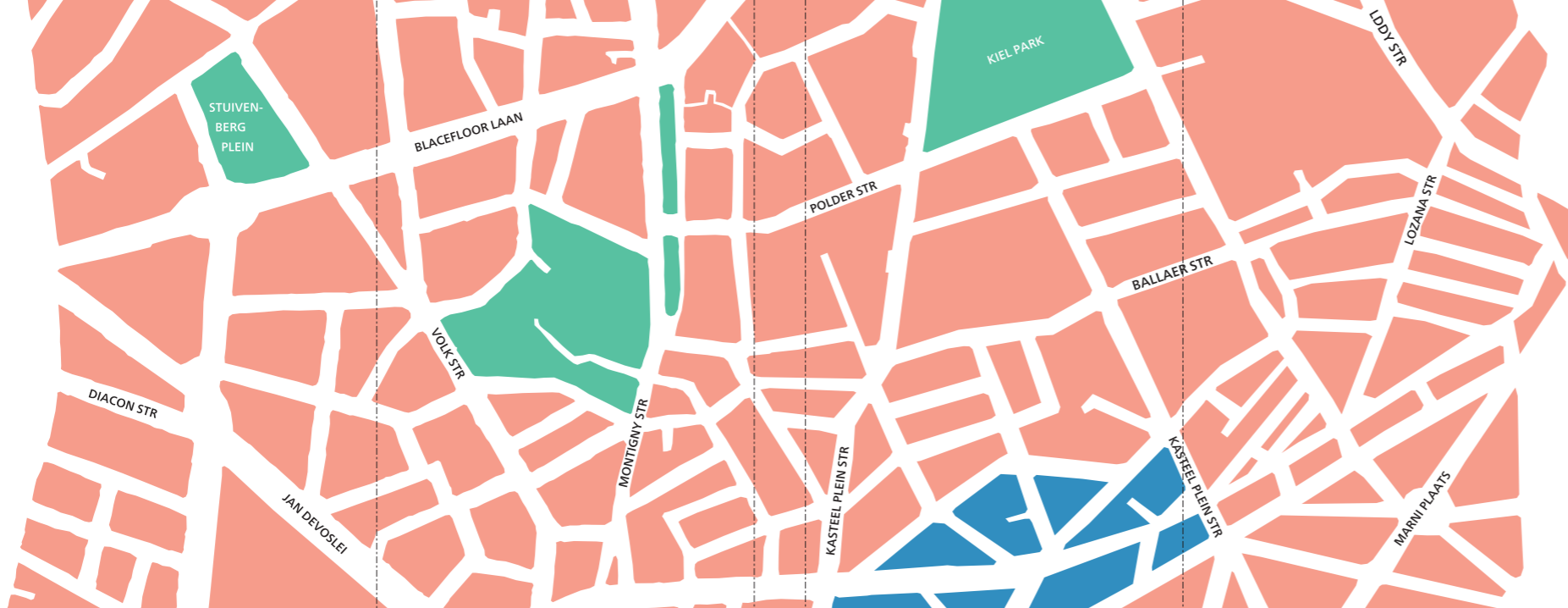
3 山折り・谷折りを交互に繰り返し、[本体]をジャバラ状にします。



4 折り線に沿って[表紙]を折り、左右を[本体]に差し込みます。



完成!



表紙

上辺

本体

下辺

山折り線

谷折り線

